

2023年9月発行 VOL.120

なぴあ

公益財団法人長崎県国際交流協会 広報誌

日本文化体験教室～筆ペンで暑中見舞いを書こう!～を開催しました!



8月5日(土)に開催した今回の日本文化体験教室では、筆ペンと絵の具を使って日本独特の「暑中見舞い」を書く体験をしました。ミャンマー、台湾、イタリア、中国、ケニア、アルゼンチン、アメリカなど10か国12名の長崎県に住む外国人と、2名の日本人の計14名が参加しました。

己書・らららん道場の野田陽子先生から、ハガキに描く絵の描き方や筆ペンの使い方を学びました。また、筆ペンで面白い文字が書けるポイントも学び、ひらがなや漢字を真剣に書く皆さんの姿は、とても印象的でした。国籍も話す言葉も違う皆さんでしたが、グループ内で助け合いながら、素敵な暑中見舞いを完成させることができました!



青少年国際理解講座「学ぼう!遊ぼう!世界体験旅行!」を開催しました!

このイベントは、子どもたちに異文化に触れる機会を提供し国際理解を深めることにより地域の国際化推進に寄与することを目的として開催しています。今年は、8月7日(月)に長崎市立図書館で開催し、34名の小学生が参加しました。今回の旅行先は、韓国、中国、オーストラリア、スリランカ、アルゼンチンで、子どもたちは、日本とは違う外国の風景や文化等に興味津々の様子で、外国人講師の話に身を乗り出して聞いている場面が多くみられました。

最後に、各講師からクイズを出題しましたが、講師の絶妙なひっかけ問題に、子どもたちが全力で回答し、大盛り上がりでした。



(公財) 長崎県国際交流協会

〒850-8062 長崎県長崎市出島町2番11号

TEL 095-823-3931/095-823-3929

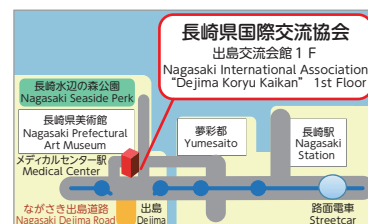
FAX 095-822-1551/E メール nia@nia.or.jp



協会公式 HP



Facebook



2023年5月に着任した長崎県の国際交流員（CIR）を紹介します！



皆さん、初めまして。5月末に、着任した王盈（おう えい）です。「盈」という字はあまり見られないですが、日本語の漢字にもありますよ。「みちる」と入力すれば出てきます。

Q 1. 出身地はどちらですか？

私は中国の上海出身です。上海と長崎は友好交流都市で、長崎からの直行便があるときは、長崎を出発して一時間で到着します。上海は、長崎と同じく、国際貿易や海外との交流で発展してきた都市で、世界中のおいしい料理が食べられます。上海にはディズニーランドもあり、長崎からだ、東京ディズニーランドへ行くよりも、上海ディズニーランドへ行く方が近いです。上海には、超高層ビルも結構あれば、古い町並みもところどころにあります。市中心部にある豫園（中国の古典的な庭園）は下町風情の楽しめる有名な観光スポットで、毎年春節の時、風物詩とも呼ばれるランタンフェスティバルが開催されています。ぜひ上海に遊びに来てください！

Q 2. なぜ日本へ？

2018年頃、一年間東京に滞在したことがあります。その時、一人で稚内から鹿児島まで、駆け足で回ってしました。日本で住んだことがあるのは大都市ばかりで、地方へ行けば行くほど、大都市と地方の相違を感じてきました。ある駅を出たら、同じ列車から降りた地元の方が私に「ようこそ」と笑顔で声をかけてくれました。台風で帰れなかったとき、泊まったホテルのオーナーさんがチェックアウトした私をずっと見守ってくれて昼ご飯も奢ってくれました。人々の親切さに驚きました。日本をより深く理解するには、地方で生活しないとけないと思って、JETプログラムに応募しました。

Q 3. 趣味はなんですか？

水泳とバドミントンです。バドミントンはあまり上手ではありませんが、夢中です！

Q 4. 長崎県民の皆さんへ一言お願いします！

初めて長崎に来たのは16年前で、その時、出会った人々の明るい笑顔が深く心に焼き付きました。ずっと、だれでも、いつでも、明るい笑顔に出会える長崎であってほしいと思います。

『国際交流員(CIR)と話そう!』開催中！

オーストラリア・中国・韓国出身の国際交流員（CIR）と楽しくおしゃべりしませんか？ 英語や韓国語、中国語を話したい方、また、外国語は苦手だけど、オーストラリアや韓国、中国の文化に触れてみたい方など、どなたでもご参加いただけます！予約・参加費は不要です。お気軽に遊びに来てください！

●日時：水曜日（16:00～17:00） ※週により国などが異なります。

●場所：（公財）長崎県国際交流協会（出島交流会館1階）

※詳細な日程は、長崎県国際交流協会の公式HPをご覧ください。

「CIRと話そう」の
日程はこちらから！



Let's have a fun
chat together!
I look forward to
meeting you all!

フィッシャー・マーギュリート CIR



皆さん、漢字
を感じましょ
う！

王 盈 CIR



韓国の最近の
話題、ドラマ、
食べ物、言葉
など様々な韓
国の文化につ
いてお話しま
しょう！

崔 ダウン CIR

長崎県内で国際交流・協力を行う団体の紹介 - 長崎「国際交流塾」/ 東山手「地球館」-

長崎県内には、国際交流・協力を行う様々な団体があります。今回は、長崎「国際交流塾」の代表でもあり、東山手「地球館」館長として、2022年10月から東山手「地球館」の運営を担う青柳智子さんが、ご自身について、また東山手「地球館」の今とこれからについてお話してくださいました！

東山手の洋館住宅群にある東山手「地球館」。私は、1997年から国際交流の拠点として多くの方に愛されてきた地球館を、昨年10月に前館長の牛嶋さんから引き継ぎ、現在、館長として運営しています。実は、私の生まれた年も1997年、地球館と同じ年です。地球館を引き継ぐことになったのは、ここ1年前後の話で、それまでは地球館の活動も知らず、国際交流の経験もほとんどありませんでした。そんな中、大切に育まれてきた文化の歴史を引き継ぎ、大きな挑戦をさせていただいていることは、自分でも驚きと感謝でいっぱいです。

地球館は、昨年12月にリニューアルオープンしました。これからは、「国際交流と、地域・観光の新拠点」として、カフェの機能を高めつつ、地球館を運営する市民団体“長崎「国際交流塾」”塾生の皆様はもちろん、長崎県に住む方、留学生、外国人を含む観光客の皆様にも訪れやすい拠点を目指します。



地球館 Friends のみんなと！
(写真右手前が青柳さん)



26th Anniversary イベントでの
ワールドフーズレストラン

東山手「地球館」は、今年5月に26周年を迎えました。アニバーサリーイベントでは、ワールドフーズレストラン、地球館のこれまでの語るトークイベント、外国人とおしゃべりROOM、民族衣装体験、地球館の活動紹介展示、やさしいマルシェを開催し、2日間で150人近くの方が地球館を訪れました。イベント当日は、これまでの地球館を支えていただいたスリランカ出身・シラーニさんのスリランカ料理が振る舞われ、前館長の牛嶋さんや前マネージャーの高梨さん、新しく地球館の活動を助けてくれている留学生、地域の皆様が集い歓談する姿には、地球館とそこに集う人々の力を強く感じました。

現在は、英会話講座やコントラクトブリッジ（トランプを使ったカードゲーム）などの活動を継続しながら、月1回程度のワールドフーズ、コンサートなどの文化イベントを実施しています。私自身も0から国際交流を経験し、季節ごとの楽しみを外国人の友人と共有する感覚で交流の機会を広げてきました。英語も拙く勉強中ですが、最近は海の日にみんなで伊王島へ行きました。今後もその延長として、地球館が、留学をせずして国際交流・文化体験ができる場所（そして長崎と世界を直で結ぶ場所）、外国人の居場所となり楽しい長崎生活を送れるスポットの1つになれば嬉しいです。



海の日 Trip の様子

当協会では、長崎県内で活躍する国際交流・協力の活動を応援しています！市町、団体で行っている国際交流・協力活動を広報誌「なびあ」、協会公式 Facebook で発信しませんか？興味がある方は、ぜひ当協会までお問い合わせください！

長崎「国際交流塾」/ 東山手「地球館」
〒850-0862 長崎市東山手町6-25
TEL : 095-822-7966
Instagram : @chikyukan0517

世界でキラリ★JICA 海外協力隊



ムラホ アマクル
Muraho! Amakuru?
こんにちは! 元気?

中尾 祐成 (なかお ゆうせい) さん

【2021年 1次隊 ルワンダ共和国 コミュニティ開発】

世界中で活躍するJICA海外協力隊。2021年からルワンダ共和国でコミュニティ開発隊員（水の防衛隊）として活動した中尾さんにお話を聞きました！



ルワンダは東アフリカに位置する内陸国で、『千の丘の国』とも言われるほど、起伏の激しい丘が連なる美しい風景が有名です。1994年のルワンダ大虐殺という悲しい歴史を乗り越え、今では国立公園のマウンテンゴリラを観察するツアー等の観光業、ICT立国を掲げたIT教育や企業誘致に力を入れています。



私は、ルワンダの首都キガリから南東に約130km、タンザニアとの国境近くのキレヘ郡という場所に派遣されました。配属先は、郡庁（日本でいう県庁）の水・衛生課で、郡内の手押しポンプの修理補助や水委員会（農村部での水源の管理をする奉仕組合）の管理体制のサポートを担当することになりました。

ルワンダの東部地域では、郡庁が主体となってパイプ給水（水道配管を使って水を各家庭に供給する給水システム）の増設に力を入れており、ポンプを使った組み上げ式の給水設備のサポート体制があまりうまく回っていない状態にありました。特にポンプが故障してしまっても、「どこに連絡していいかわからない」や「修理のやり方や頼み方がわからない」など、故障後もポンプがそのまま放置されている地域も多くありました。

そこで、私はQRコードを使用し、遠隔で故障状態を把握できる仕組みづくりを進めました。IT技術に興味津々で、農村部でもスマートフォンやタブレットを所持している人が比較的多いルワンダで、QRコードを読み込んで報告をするという仕組みが、「おもしろい！」と賛同してもらえ、キレヘ郡の一部の地区で導入され、トレーニングを行いました。私が派遣されている期間に、ポンプの故障連絡やポンプの様子がおかしいなどといった報告を、この仕組みを活用して実際に受け取り、少しはルワンダの役に立てたのかなと帰国した今、思い返しています。

今後、ルワンダの現状を伝えることで、皆さんに少しでもこの国のことを知ってもらい、興味を持ってもらえたらと考えています。



郡庁職員への報告会



QRコードを利用した故障報告トレーニング



農村部での住民会議

活水中学校2年生・筑濱心奏さんの職場体験取材レポート♪

職場体験で長崎県国際交流協会を訪れた活水中学校2年の筑濱心奏さんが、英語とやさしい日本語を使って、当協会の外国人業務支援ボランティアのCECILIA ELIASさん（アルゼンチン出身）にインタビュー取材を行いました！



筑濱さんと取材を受けるセシリアさん

Q1. なぜ日本に来ましたか？

初めて日本に来たのは、2020年の3月で、墨絵を勉強するために日本に来ました。

Q2. 趣味は何ですか？

人と話すことが好きです。また、音楽やダンスも好きです。オペラやクラシックが好きですが、JPOPミュージックが一番好きです。

Q3. 日本食では何が好きですか？

私の故郷では、あまり魚を食べないですが、長崎は魚がおいしいです。刺身や、天ぷら、お寿司が好きです。魚はアジが特に好きです！

Q4. アルゼンチンについて教えてください。

アルゼンチンは南アメリカの中でも一番下にある大きな国です。人が優しくて、人と話すのが大好きな国です。海や川、山などの自然がたくさんあります。アルゼンチンの北部はとても暑く、南部はとても寒いです。アルゼンチンの人はスペイン語を話します。遠い昔、スペイン人がアメリカに来て、アルゼンチンはスペインの植民地になったからです。ブラジルはアルゼンチンの隣の国ですが、ポルトガルの植民地だったので、ポルトガル語を話します。

また、アルゼンチンは移民の国です。アルゼンチンのほとんどの人は移民で、イタリアやスペイン、アジア、アフリカなどから移り住んできた人です。本当にわずかな人だけが、南米で生まれた人です。だから私たちは、違う国の言葉話す人に慣れていて、みんな家族のような感覚です。

Q5. アルゼンチン料理は何が好きですか？

アサードというバーベキューが有名です。でも、私はエンパナーダが好きです。エンパナーダはパイの中に牛肉や野菜、チーズが入ったものです。アルゼンチンの人は、牛肉をたくさん食べます。



ベトナム人の業務支援ボランティアのタムさん（向かって右となり）と一緒に♪



一緒に七夕の飾りつけをしました！



取材を終えた筑濱さんの感想・・・

セシリアさんに、どんな国に行ったことがあるのかを尋ねると、スペインや、アメリカのニューヨーク、オランダ、ブラジル、ウルグアイ、インド、イギリスなど、たくさんの国に行ったことがあると話してくれました。全ての英語を聞き取ることはできなかったけど、学校で習った単語や、知っている単語は聞き取ることができました。最初は質問を書いたメモを見ながら話していたけど、緊張がほぐれてくると、メモがなくても自分が知っている英語を使って話すことができ、セシリアさんと英語で会話ができたときはとても嬉しかったです。また、やさしい日本語で質問をすると、簡単な英語で答えてくれて、とても分かりやすかったです。

セシリアさんは、話すときに私の目をしっかり見て話してくれたり、私が分からない様子でいると、ジェスチャーなどで分かりやすく説明してくれました。私も外国の人と話すときには、セシリアさんが私にしてくれたようにして話してみたいと思います。もともと英語で話すのは好きでしたが、今回の機会を通してもっと英語が好きになりました！

協会からのお知らせ

令和5年度日本語ボランティア養成講座（全5回）の受講者を募集します！

長崎県及び長崎県国際交流協会では、多様なライフスタイルを持つ外国人住民の皆さんが、日本語を学びやすい環境を作るため、地域日本語教室の設置に取り組んでいます。

この講座は、日本語を通じて地域の外国人住民と日本人が交流することを目的としています。日本語を使いながら、その場に参加する人同士が交流し学びあう関係づくりができるよう、交流するにあたって大切にしたい視点や外国人住民を取り巻く現状、「やさしい日本語」等について様々な角度から学びます。第1～3回まではZoomでのオンライン形式で行い、第4、5回は、対象の6市町で地域に住む外国人の方と実際に日本語で話しながら交流します。

●対象市町：松浦市、西海市、雲仙市、東彼杵町、川棚町、波佐見町

●募集対象者：上記6市町に居住、または通うことができる方、可能な限り全5回の講座をすべて受講できる方

●養成講座のスケジュール：

第1回 2023年10月15日（日）13:00～15:00（Zoom）

第2回 2023年10月21日（土）13:00～15:00（ // ）

第3回 2023年10月28日（土）13:00～15:00（ // ）

※第4、5回は市町により、日程が異なります。また、東彼杵町は川棚町での合同開催となります。

詳しくは、当協会HPよりご確認ください。

●申込締切：2023年10月6日（金）

●申込方法：右記QRコード（当協会HP掲載情報）の申込フォームからお申し込みください。

●問合せ先：長崎県国際交流協会 担当：吉用（よしもち）TEL：095-823-3931／E-mail：nia@nia.or.jp

養成講座の詳細・申し込み
はこちらから！



第25回ながさき国際協力・交流フェスティバルを開催します！

フェスティバルならではの楽しい催しが盛りだくさん！

皆さん、ぜひ遊びに来てください！

日 時：令和5年10月29日（日）11:00～16:00

会 場：長崎県庁（長崎市尾上町3-1）

出展団体：県内の国際協力・交流団体31団体

内 容：県内の国際協力・交流団体等の活動展示、

フリーマーケット、フェアトレード製品・海外手工芸品等の販売、和楽器体験、外国と日本の文化体験（民族衣装の試着・茶道体験など）、外国の料理等の販売、プレゼントクイズ他



第15回～語り合おうin Nagasaki～外国人による日本語弁論大会の一般来場者大募集！

長崎県内の外国人住民が「外国人から見た日本・平和・国際交流」をテーマに、日本語でスピーチを行います。外国人の視点から見た日本や地域社会について知り、さらなる国際理解を深めませんか？申込不要・入場無料で、どなたでもスピーチを聞くことができます。皆さまのご来場をお待ちしております！

日 時：令和5年10月14日（土）13:30～16:00

場 所：国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館交流ラウンジB2F

主 催：外国人による日本語弁論大会実行委員会

（公財）長崎平和推進協会／（公財）長崎県国際交流協会

協 賛：長崎商工会議所、オリエンタルエアブリッジ㈱、JR九州㈱長崎駅



～外国人支援事業を応援してくださる賛助会員を募集しています！～

賛助会員として長崎在住外国人を応援しています！

安達株式会社

扇精光ホールディングス株式会社

ヤナセ産業株式会社

長崎県青果移出商業協同組合

年会費 個人会員：3,000円

法人会員：10,000円

※詳しくは、長崎県国際交流協会までお問合せください。